

# 大阪のスーパーシティ構想

---

2023（令和5）年10月11日

大阪府知事 吉村 洋文

大阪市長 横山 英幸

# 大阪のスーパーシティ構想について

---

## 「健康といのち」をテーマに住民QoLを向上させる先端的サービスを展開

- 大阪のスーパーシティ構想のテーマは「データで広げる“健康といのち”」。2つのグリーンフィールドで3つのプロジェクトを展開、大阪全体へ広げていく。

### データで広げる“健康といのち”

2023年度～

#### 夢洲コンストラクション

3つの円滑化を推進

1. 建設工事現場内外の移動
2. 建設工事及び資材運搬
3. 建設作業員の安全・健康管理



2024年度～

#### うめきた 2期

中核機能のテーマ

#### ライフデザイン・イノベーション



イメージパース (提供：うめきた2期地区開発事業者)

2025年度

#### 大阪・関西万博

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

- Saving Lives (いのちを救う)
- Empowering Lives (いのちに力を与える)
- Connecting Lives (いのちをつなぐ)



提供：2025年日本国際博覧会協会



2つのグリーンフィールド

- ・夢洲
- ・うめきた 2期

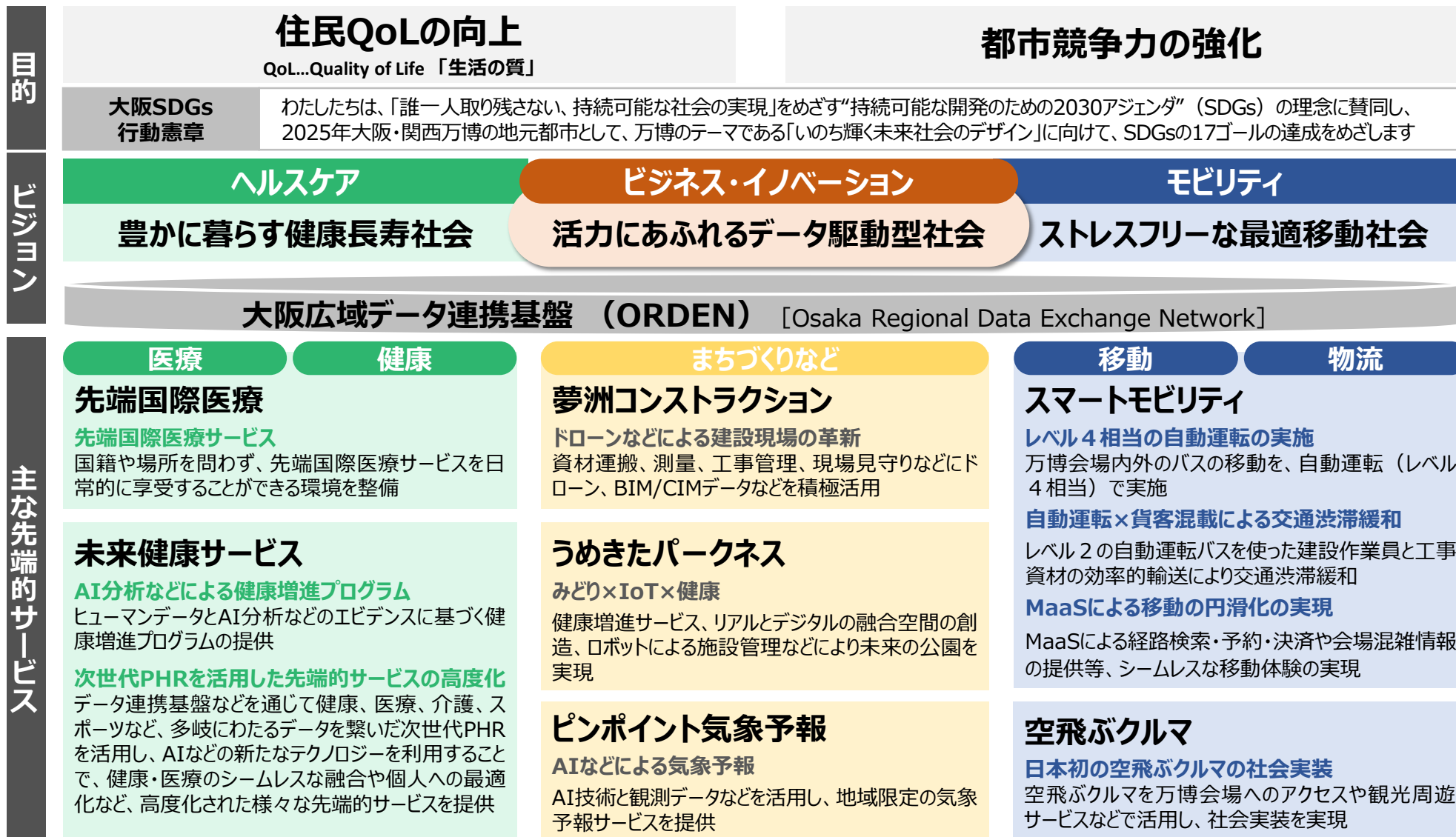
住民QoLの向上と  
都市競争力の強化を  
めざす

輝く未来社会

超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータなどの活用により、創薬や医療機器開発などの分野にとどまらず、人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスを創出

# 大阪のスーパーシティ構想がめざす未来ビジョン

- 様々な先端的サービスに取り組むことで、住民QoLの向上と都市競争力の強化をめざす。

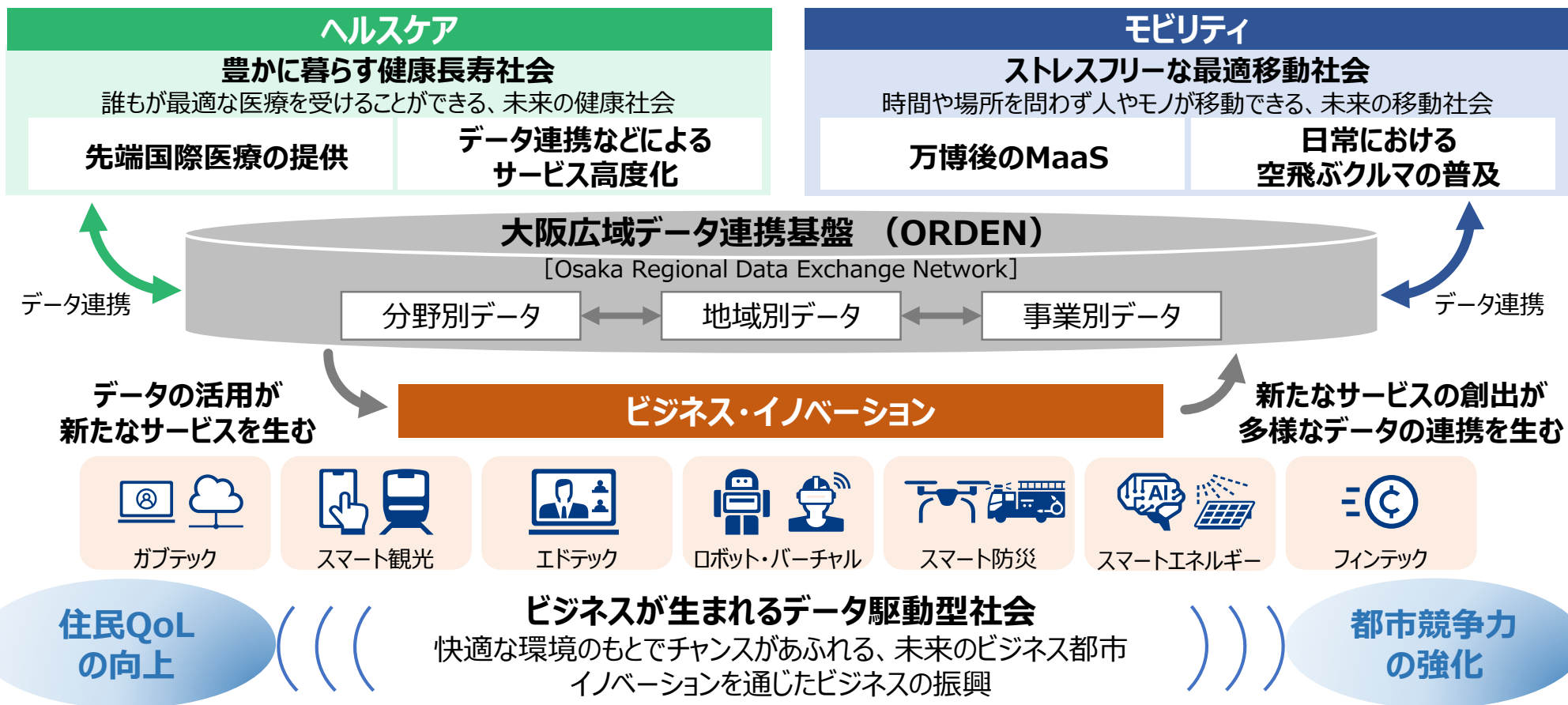


# 住民一人ひとりの生活の質が向上し、都市が成長し続ける大阪

- 夢洲及びうめきた2期において先端的サービスの実証や実装を進め、また大阪広域データ連携基盤（ORDEN）を活用した様々なデータ連携を推進することで、次々とビジネスが生まれるデータ駆動型社会の実現をめざす。
- また、イノベーションの担い手となる企業等の創業支援※・ビジネス環境整備にも注力し、「技術革新と課題解決の好循環」「イノベーション創出」を図り、働きやすく住みやすい、健康で快適な質の高い暮らしと、大阪の成長・発展の実現をめざす。

※外国人創業活動促進事業（スタートアップビザ） **【区域計画】**

→創業人材等の多様な外国人の受入れ促進及び起業準備活動期間の延長に関する特例措置の活用





# 大阪のスーパーシティ構想の現状と今後の取組について

---

# 夢洲：夢洲コンストラクションにおける現状と今後の取組

- 大阪・関西万博の開催に向け、会場整備やインフラ整備などの建設工事を円滑に行うため、工事車両の渋滞対策や作業員の円滑な移動などに取り組む。

事業概要

## 夢洲コンストラクションの3つの柱

### ① 建設工事現場内外の移動円滑化

- データなどの活用による交通量予測に基づくピークシフト誘導
- 位置情報及びAIカメラによる車両管理
- 駅及び共同駐車場からのシャトルバス・デマンドバスの運転管理

### ② 建設工事・資材運搬円滑化

- BIM/CIMなどを活用した建設工事の効率化
- データ及びセンシングによる局所的な気象予測
- ドローンによる建設工事の円滑化
- シャトルバスを活用した資材運搬(貨客混載)

### ③ 建設作業員の安全・健康管理円滑化

- AIによる顔認証での建設作業員の入退場管理
- バイタル情報及び位置情報によるリアルタイムでの安全・健康管理

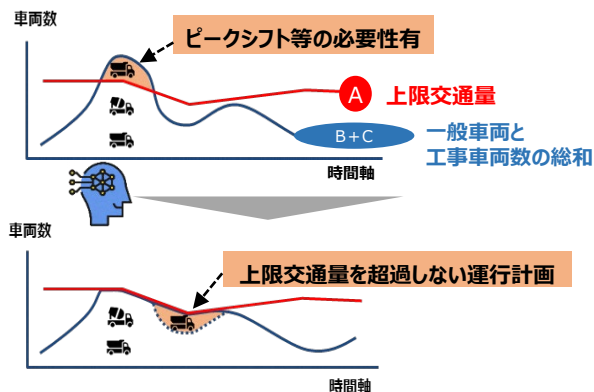


・ 夢洲コンストラクションでは、最先端技術の活用により建設工事を安全かつ円滑に行うための「先端的サービス（規制改革含む）」を実施。

今後の取組例

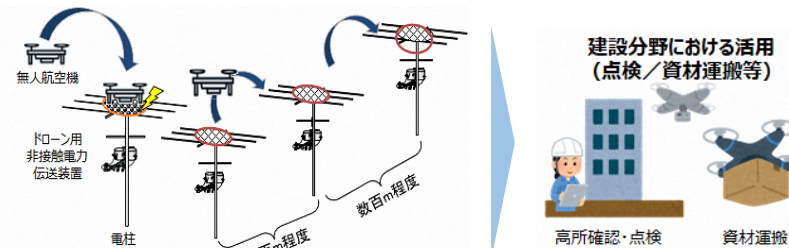
### 数理最適化モデルによる車両運行計画の最適化

工事情報、車両データ、気象予測、道路交通情報のデータから、各ルート上限交通量を超過しないように車両運行計画のロジック最適化計算を実施



### ドローンによる建設工事の円滑化

ドローンの飛行中の充電を可能とする装置について、個別の設置許可を不要とする型式指定に必要な条件の検討



(規制改革事項)  
無人航空機用のワイヤレス電力伝送装置に係る型式指定の制度化

夢洲コンストラクションで実現した技術やサービスを全国の大規模建設工事を始め、まちづくりにも発展的に活用



# 夢洲：大阪・関西万博における現状と今後の取組

- 大阪・関西万博では、4つの特徴的な先端的サービスをはじめ様々な取組が進められる。

## 事業概要

### 4つの特徴的な先端的サービス

- ① 近未来の医療・健康サービス
  - パビリオン来館者のヘルスケアデータの取得によるパーソナライズされた体験が可能なサービスの提供
- ② 自動運転車
  - カーボンニュートラルの観点で踏まえたEVバスの自動運転（レベル4相当）の実施
- ③ 空飛ぶクルマ
  - 日本初の空飛ぶクルマの社会実装
- ④ MaaSによる移動の円滑化
  - OSAKAファストパス（仮称）の実施
  - 万博関連情報の連携による関西MaaSの機能拡充



①「大阪ヘルスケアパビリオン」外観イメージ



③「空飛ぶクルマ」  
出典：経済産業省HP



提供：2025年日本国際博覧会協会

- 大阪・関西万博では、「未来社会の実験場」のコンセプトにふさわしい「先端的サービス（規制改革含む）」を実施。

#### 大阪ヘルスケアパビリオンでの取組

- 大阪府と大阪市がREBORNをテーマにオール大阪で出展する「大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn」では、未来の医療・健康サービスを提供



#### 空飛ぶクルマ

- 空飛ぶクルマの空港や市内等からの2地点間運航の実現を目指す



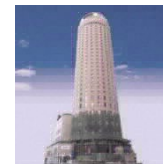
出典：経済産業省HP

#### （規制改革事項）

空飛ぶクルマの機体の安全性、操縦者、運航安全等に関する基準の整備

#### 万博に関する仮設建築物の建築に係る特例（区域計画）

- 大阪のランドマーク的存在として長らく親しまれてきた「大阪マルビル」建て替え工事期間中、敷地に**特例を活用した仮設の待合所を設置**する等シャトルバスのターミナルを整備し、万博の円滑な来場者輸送に寄与



大阪マルビル

事業者：大和ハウス工業株式会社  
敷地所有者：株式会社大阪マルビル



万博バスターミナルイメージバス

設計・施工：株式会社フジタ

万博で実現した先端的サービスを万博後の大阪に展開

## 今後の取組例

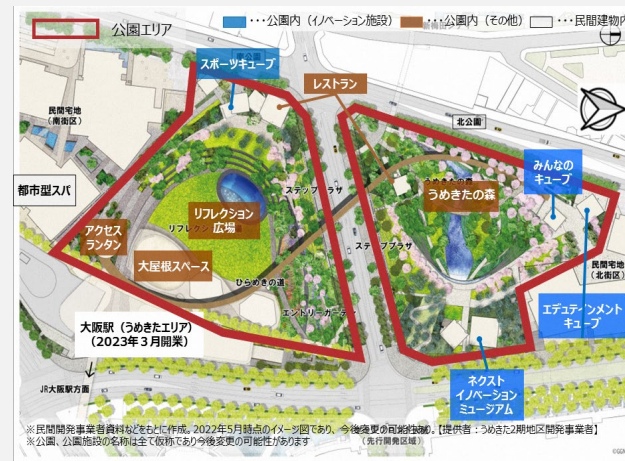
# うめきた 2 期における現状と今後の取組

- 2 期地区の約半分を占める大規模な「みどり」を中心に地区全体で、来街者に「みどり」を使った体験や行動変容の機会の創出など、来街者の利便性向上に資する先端的服务を提供する

事業概要

## 来街者の利便性向上に資する先端的服务の例

- |   |   |
|---|---|
| ① ヒューマンデータ利活用に資するプラットフォームの提供                  | ● サービス事業者が来街者のヒューマンデータ（心理、生理、脳情報、行動など）を取得し、当該データを活用できる環境を構築 |
| ② パーソナルモビリティサービスのシェアサービス                      | ● パーソナルモビリティの利用環境の整備による、利用者の公園内外の移動の円滑化                     |
| ③ 公園内・建物内における施設管理、配送などのマネジメント高度化              | ● 建物・公園の維持管理・運營業務について、画像解析・ロボット・ドローンなどの技術を活用した業務の省人化・無人化    |
| ④ リアルとデジタルの融合した都市空間 = Parkness を実現するための DX 推進 | ● リアルとデジタルの融合した新たな価値創造空間の創出・大容量通信網（ローカル 5 G など）の整備          |
| ⑤ 駅を活用したまちなか・便利なヘルスケア環境の構築                    | ● 大阪駅（うめきたエリア）におけるスマートゲートの活用<br>● センサーやデバイスを敷設した健康計測スポットを設置 |



うめきた公園全体計画図

今後の取組例

- うめきた2期では、来街者の利便性向上に資する「先端的服务（規制改革含む）」を実施。

### ヒューマンデータ利活用に資するプラットフォームの提供

- 温泉利用型健康増進施設にて、ヒューマンデータとAI分析などによるエビデンスに基づく健康増進プログラムを提供
- 効果を数値化してデータに還元することで循環型の健康サイクルを形成



### リアルとデジタルの融合した都市空間 = Parkness を実現するための DX 推進

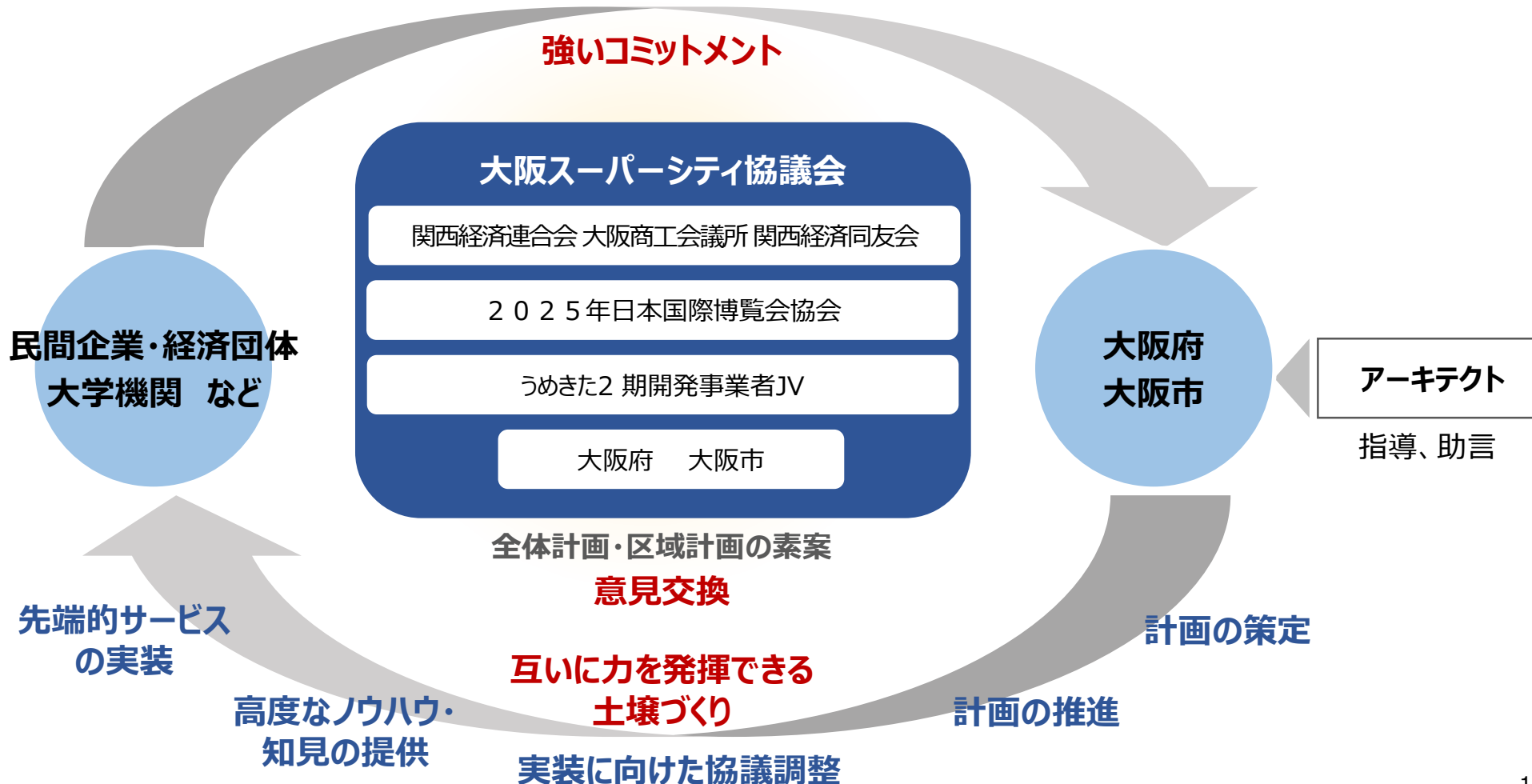
- ミラーワールドを構築し、MR技術により現実と重ね合わせることで、多種多様なテーマの世界を体験できるイベントを検討
- 「みどり」の空間に、柔軟な設置が可能な仮設建築物を設置し、来街者に「様々な体験価値」を提供



うめきた 2 期において先端的服务を提供し、他の地区での将来的なまちづくりに活用

# 大阪のスーパーシティ構想の推進体制

- 区域指定を受け、スーパーシティ構想の実現を図る推進体制として、大阪スーパーシティ協議会を開催。
- 協議会で意見交換を行いながら、大阪府・大阪市は2022年12月に大阪のスーパーシティがめざす姿、指定区域で実施する先端的サービス及び規制改革の内容などを全体的に取りまとめた大阪スーパーシティ全体計画を策定・公表した。
- 計画策定後は、着実な計画推進に向け、事業実施主体が先端的サービス実装を効果的に進められるよう、取組を進めている。



## 參考資料

---

# 外国人創業活動促進事業（スタートアップビザ） 【区域計画】

## 背景

- 大阪市では2019年5月から「大阪市外国人起業活動促進事業」として、経済産業省から外国人起業促進実施団体の認定を受け、支援窓口を市の中小企業支援の執行機関として位置付けている大阪産業局に設置して、経営相談、資金調達など産業局が保有する支援機能を使って起業活動支援を実施している
- 2020年には京阪神地域が「グローバル拠点都市」に選定されグローバルに展開するスタートアップ企業が次々に輩出されるスタートアップ・エコシステムの構築に取り組んでおり、大学の研究成果を活かしたスタートアップの創出・成長支援も進めている
- 外国人起業活動促進事業導入後、コロナ禍においても制度利用者は順調に推移しており、訪日外国人客数が回復し始めた2022年度以降は相談件数、制度利用者ともに増加の兆しが見られる
- 優秀な外国人起業家をさらに呼び込むためには、事業化までに比較的時間を要する研究開発型スタートアップなどを想定して、経済産業省のスタートアップビザによる最長1年間の起業準備活動のさらなる延長が有効と認識しており、そのための国家戦略特別区域外国人創業活動促進事業の導入が必要

## 特例の概要

- ① 上陸6か月以内に「経営・管理」の要件を満たす見込みで大阪市等からサポートを受ける創業活動については、特例的に在留資格を認める（最長6か月）
- ② 外国人起業活動促進事業の期間内に起業に至らなかった外国人が、大阪市等からサポートを受ける創業活動については、国家戦略特別区域外国人創業活動促進事業を活用することを認める（最長6か月）

① 在留資格「経営・管理」  
※ 創業活動（最長6か月）

在留資格「特定活動」  
最大1年※ 経済産業省制度

② 在留資格「経営・管理」  
※ 創業活動（最長6か月）

大阪市・関連機関による  
各種サポート、進捗確認、創業支援

継続してサポート

## 期待される効果

国家戦略特別区域外国人創業活動促進事業を導入し、海外スタートアップ、優秀な外国人起業家を呼び込むための環境整備を行うことで、大阪市のスタートアップ・エコシステムの活性化に寄与

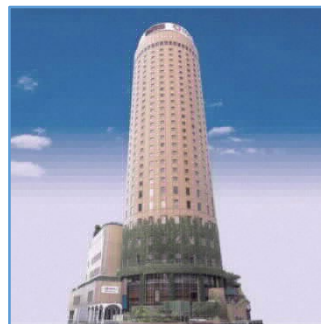
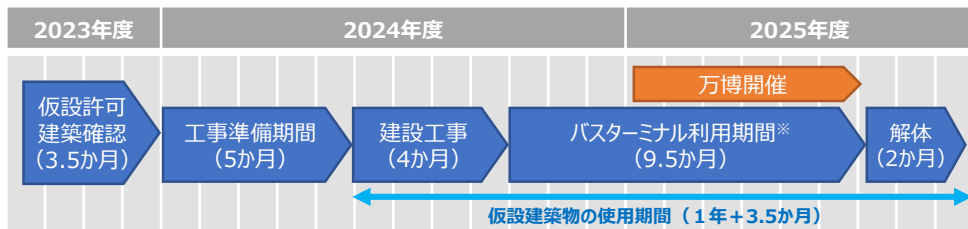
# 大阪・関西万博に関する仮設建築物の建築 【区域計画】

- 大阪・関西万博の開催に向けては、想定来場者2,820万人の安全で円滑な来場を実現しつつ、大阪・関西圏の社会経済活動を支える人流・物流への影響を最小化することが大きな課題であり、会場アクセスの一つとして、主要ターミナルから会場への直通シャトルバスの運行を計画。
- 大阪のランドマーク的な存在として長らく親しまれてきた「大阪マルビル」は、竣工から約50年を迎え、建て替えが決定。建て替え工事期間に万博が開催されることから、ビル事業者が、万博への協賛として敷地をシャトルバスのターミナルに整備し、無償で提供。
- 敷地内には、万博に関する仮設建築物の建築に係る特例※を活用し仮設の待合所を設置するほか、乗降場、待機場などを設け、全国各地から来場される方々の安全・快適な移動を支援する。  
 ※大阪・関西万博に関連して1年を超えて建築される仮設建築物について、あらかじめ区域計画に公益上やむを得ないものとして位置付けることにより、特定行政庁が「公益上やむを得ない」ものとして取り扱うことになりうる特例。

## 大阪マルビル跡地バスターミナル整備事業の概要

事業者 : 大和ハウス工業株式会社  
 敷地所有者 : 株式会社大阪マルビル  
 設計・施工 : 株式会社フジタ  
 建築予定地 : 大阪市北区梅田1-9-20 (大阪マルビル跡地)  
 (都市計画 : 防火地域、商業地域、高度地区 (最低限度20m))  
 敷地面積 : 3,244.62㎡ (981.498坪)  
 仮設建築物 : 駅シャトルバスターミナルの待合所  
 存続期間 : 2025年12月まで (想定)  
 仕様 : 『ZEB』認証、リユース材使用、太陽光発電設備

## スケジュール

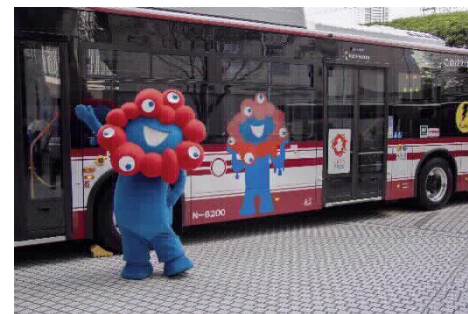


「大阪マルビル」は、1976年4月、当時の最新鋭の技術を結集した日本初の円形超高層ビルとして誕生。ビルの屋上には、創業時より電光掲示板が設置され、ニュースや天気情報を発信し、「回る掲示板」の愛称で親しまれてきました。



バスターミナル イメージパース

提供 : 大和ハウス工業株式会社



EVバス

提供 : 2025年日本国際博覧会協会 14